

指 導 室

1 事務局運営事務 予算科目(款・項・目) 50・05・10 [決算書315ページ]

市立小・中学校の教育活動を地域や関係機関とともに支援していくためのもの

(1) あいさつ運動

児童・生徒の豊かな心を育成することを目的として、学校、地域、保護者が互いに連携し、あいさつ運動を実施した。6月と11月をあいさつ運動推進月間とし、それぞれ「あいさつ週間」を1週間設定して、全市立小・中学校において、登校時に教職員、教育委員会職員や保護者などが校門前に立ち、児童・生徒に朝の挨拶を行った。

(2) 調布市教育シンポジウム

調布市のオリンピック・パラリンピック教育の取組を周知し、参加者との共通理解を図ることを目的に開催した。

ア テーマ 「すべての学校、すべての学級で実践する調布市の特別支援教育」

イ 開催日 平成29年9月2日

ウ 会場 調布市文化会館たづくり 大会議場

エ 参加者数 181人

(3) 調布市教育委員会いじめ問題対策協議会

調布市教育委員会いじめ防止に関する規則に基づき、いじめの未然防止や重大事案への対処等に取り組むため設置した。

ア 開催日 平成29年6月21日

イ 委員構成等 学識経験者、調布警察署、子ども家庭支援センターすこやか、多摩児童相談所、調布保護司会等(9人) 男8人、女1人

(4) 幼・保・小連携事業

調布市内の幼稚園・保育園及び小学校がともに連携し、児童の幼児期から学童期への円滑な移行を市保育課と共催で支援するもの

ア 幼保小連携検討会議

(ア) 開催日 平成29年8月31日、平成30年2月22日

(イ) 委員構成等 調布私立幼稚園協会からの推薦者 (2人) 女2人
調布市保育園協会からの推薦者 (4人) 男2人、女2人
調布市公立小学校長会からの推薦者 (4人) 男2人、女2人

イ 保護者向け講演会「準備はいい?もうすぐ1年生」

(ア) 開催日 平成29年9月30日

(イ) 参加者数 90世帯105人

ウ 就学支援シート

幼稚園・保育園の支援方法などを小学校につなげることを目的として作成・活用した。

2 教育指導管理事務 予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書315ページ]

教育活動の充実を図るため、市立小・中学校において教育活動の支援や指導を行うもの

(1) 理科支援員

小学校第5・6学年の理科授業における観察・実験の支援等を行う理科支援員を配置した。
配置数 16人(市内小学校に配置)

(2) 学校教育支援学生ボランティア

市立小・中学校における教育活動の充実を図るとともに、学生に社会体験の機会を提供することを目的として、市と相互友好協力協定を締結している大学、近隣の大学等の学生や市内・近隣に在住する学生を、ボランティアとして市立小・中学校に派遣した。

学生ボランティアは、学習指導の補助、児童・生徒の介助、教育相談及び部活動・課外活動の支援活動を行った。

年度	学生ボランティア登録者数 (人)	派遣先学校数 (校)
27	92	19
28	85	21
29	20	9

※ 学校支援地域本部実施校（11校）については、平成29年度から自校でボランティア活用を実施

(3) 教科書採択

平成30・31年度に使用する調布市立小学校「特別の教科 道徳」及び小・中学校特別支援学級教科用図書採択を行った。

ア 教科用図書選定運営委員会（全2回）

教科書採択事務が円滑かつ公正に行うことができるよう教科用図書選定運営委員会を設置し、教育委員会から諮問された調査・研究に対し答申をした。

(7) 開催日 平成29年5月15日、同年7月7日

(1) 委員構成等 教科用図書選定運営委員長、「特別の教科道徳」教科書調査委員長、小・中学校特別支援学級用教科書調査委員会委員長、有識者、保護者 男4人 女5人

イ 教科書調査委員会

教科用図書選定運営委員会から文部科学省著作教科書及び学校教育法附則第9条による教科書の教科別・種目別に調査・研究の依頼を受け、各教科書の違いが明瞭に分かる「調査・研究資料」を作成した。

(4) 不登校対策事業

各校の不登校対策員が中心になり、自校の不登校状況を個別支援票の集約を基に把握するとともに、不登校対策委員会において、各学校の不登校状況の報告と不登校児童・生徒の解消に向けた情報交換や分科会での協議を行い、課題解決のために取り組んだ。

ア メンタルフレンド

不登校児童・生徒を対象に、学校からの依頼を受けて、大学生等を学習の補助、話し相手として派遣し、学校に行きづらい児童・生徒をサポートした。

年度	派遣した大学生等の回数(回)	対象児童・生徒数(人)
27	144	14
28	188	9
29	141	7

イ テラコヤスイッチ

不登校生徒を対象に、同年代の生徒や大学生等との小集団での活動や、学習等を実施し、学校に行きづらい生徒をサポートした。

年度	実施回数(回)	参加生徒数(人)
27	38	4

28	40	8
29	43	9

(5) 体力テスト

東京都の体力調査を市立小・中学校の全学年を対象に実施し、体格、体力及び運動能力の実態を把握した。その結果をまとめ、分析し全校に配布することにより、普段の体育指導に有効な情報として活用した。

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	持久走 (男1,500m) (女1,000m)	50m走	立ち幅跳び	ソフト・ ハンドボール 投げ
小学校	○	○	○	○	○		○	○	○
中学校	○	○	○	○	選択実施		○	○	○

(6) 学力状況調査（市独自調査）

児童・生徒一人一人の学習状況を把握し、今後の指導に生かしていくため、国や東京都の調査のほかに、調布市独自の学力状況調査を行った。

区分	学年	科目
国	小学校6年生	国語，算数，意識調査
	中学校3年生	国語，数学，意識調査
都	小学校5年生	国語，社会，算数，理科，意識調査
	中学校2年生	国語，社会，数学，理科，英語，意識調査
市	中学校1年生	国語，数学，英語，意識調査

(7) 生活指導主任会（児童・生徒の健全育成）

児童・生徒の生活指導上の課題を明確にするとともに、関係諸機関との連携を図りながら実践的対応に努めた。

ア 構成 市立小・中学校長（2人），市立小・中学校副校長（2人），市立小・中学校生活指導主任（28人），その他必要に応じて、警察，保護司等

イ 開催 小・中学校合同全体会（年1回），小学校分科会（年5回），中学校分科会（年7回）

(8) 教員用教科書・指導書の購入

年度	教科書購入（冊）		指導書購入（冊）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
27	5,802	155	3,351	2
28	84	1,147	858	815
29	284	54	264	74

(9) 調布市作成の副読本，指導資料，報告書等

ア わたしたちの調布（小学校第3・4学年用）

イ 新しいふるさと調布（中学校用）

ウ 社会科色地図（小学校第3・4学年用）

エ 調布市立学校 学校案内

オ 調布市中学生職場体験事業所向けガイドブック

カ 調布の校長

キ 科学する心 科学センターの記録

ク 指導室要覧

(10) 特色ある学校づくり

豊かで特色ある学校づくりの実現を目的として、部活動、水泳指導補助、学校ボランティア等に係る経費について交付金を全市立小・中学校へ交付した。

(11) オリンピック・パラリンピック教育

調布市のオリンピック・パラリンピック教育の三つの視点を基に、「4つのテーマ」と「4つのアクション」を組み合わせた様々な教育活動を行った。

ア 夢・未来プロジェクト

東京都教育委員会によるアスリート等の派遣事業

(ア) 「YOKOSO」プログラム

オリンピック派遣

国領小学校 バドミントン 廣瀬 栄理子 氏

布田小学校 体操競技 中瀬 卓也 氏

(イ) 「自分にチャレンジ」プログラム

八雲台小学校 車椅子バスケットボール 土子 大輔 氏

飛田給小学校 ゴールボール 天摩 由貴 氏

イ 世界ともだちプロジェクト

オリンピック・パラリンピック教育を通じて、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解するため、大会参加予定国について幅広く学び、東京2020大会までの期間に実際の国際交流活動等を実施することを目的として、学校ごとに参加予定国5箇国を一つのグループとする大会参加予定国を幅広く学び、可能な限り実際の交流へと深化させていく活動を行った。

ウ オリンピック・パラリンピック教育推進校

調布市立小・中学校の全28校が、東京都教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として指定され、各校が様々な取組を実施した。

学校名	主な取り組み
第一小学校	走り方教室 おもてなし講演会
第二小学校	ブラインドサッカー体験 パラリンピアン講演会（ボッチャ）
第三小学校	ボッチャ体験 フェンシング体験
八雲台小学校	フェンシング体験 パラリンピアン講演会（ボッチャ）
富士見台小学校	走り方教室 伝統芸能体験
滝坂小学校	車椅子ラグビー体験 茶道体験
深大寺小学校	一輪車講習 なわとび教室
上ノ原小学校	車椅子体験 大使館交流（トーゴ共和国）
石原小学校	なわとび教室 FC東京選手会訪問
若葉小学校	日本代表選手講演会（サッカー） 福祉体験会
緑ヶ丘小学校	パラリレー体験 ゴールボール体験
染地小学校	走り方教室 車椅子ラグビー体験
北ノ台小学校	伝統・文化教育推進校 FC東京選手会訪問

多摩川小学校	パラリンピアン講演会（陸上） 福祉体験
杉森小学校	野球教室 電動車椅子サッカー教室
飛田給小学校	オリンピック・パラリンピック教育アワード校パラリンピアン講演会（ボッチャ）
柏野小学校	なわとび教室 茶道体験
国領小学校	スケートキャラバン ラグビー体験
布田小学校	オリンピック・パラリンピック教育アワード校 車いすバスケットボール体験 ブラインドサッカー体験
調和小学校	墨アート体験 ラクロス体験
調布中学校	オリンピック講演会（車椅子バスケットボール）
神代中学校	マナー講座 オリンピアン講演会（サッカー）
第三中学校	パラディスボール体験 マナー教室
第四中学校	アンプティサッカー講演会 福祉体験
第五中学校	スーパーアクティブスクール指定校 日本代表選手講演会（サッカー・野球）
第六中学校	メンタルトレーニング講演会 日本代表選手講演会（車椅子ソフトボール）
第七中学校	フェンシング体験 大使館交流（パラオ）
第八中学校	ウィルチェアラグビー体験 ボランティア活動

(12) 学校農園

市内の協力農家において、さつまいも、大根づくりなどの農作業の体験的学習を行った。

年度	実施校数(校)	実施学校名
27	1	調和小学校
28	1	調和小学校
29	1	調和小学校

(13) 学校支援地域本部

地域人材を活用し学校における教育活動（学習支援・部活動など）の充実を図るため、学校と地域をつなぐ学校支援コーディネーターを平成22年度から配置。各校の実情に合わせた支援が行えるよう体制を整えた。

年度	実施校数(校)	実施学校名
27	6	第八中学校, 深大寺小学校, 若葉小学校, 国領小学校, 滝坂小学校, 第五中学校
28	7	第八中学校, 深大寺小学校, 若葉小学校, 国領小学校, 滝坂小学校, 第五中学校, 布田小学校
29	11	第八中学校, 深大寺小学校, 若葉小学校, 国領小学校, 滝坂小学校, 第五中学校, 布田小学校, 多摩川小学校, 神代中学校, 第四中学校, 第七中学校

(14) 科学センター

ア 設置目的 市立小学校の科学教育の振興を図る

イ 設置校 布田小学校

ウ 対象 市立小学校第5・6学年児童

年度	実施回数(回)	延べ参加児童数(人)
27	14	918
28	14	713

29	13	764
----	----	-----

※ 29年度は、天候悪化のため1講座中止となった。

(15) 教育センター

ア 教育経営研究室

教職員の新任研修及び経験者等の研修をはじめ、教育に関する専門的、技術的事項の調査・研究を行った。

年度	経営研究室研究員配置人数
27	市嘱託員1人，都非常勤嘱託員2人
28	市嘱託員1人，都非常勤嘱託員3人
29	市嘱託員2人，都非常勤嘱託員2人

イ 教育支援コーディネーター室

教育支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーを配置して、関係機関と連携し、市立小・中学校等の教員，児童・生徒，保護者や地域の人等の相談を受け，事案に応じた支援をコーディネートした。

(ア) 教育支援コーディネーターの配置人数等

年度	教育支援コーディネーター 配置人数		スクールソーシャルワーカー 配置人数
	教育会館配置	七中相談学級配置	
27	市嘱託員 2人 都非常勤嘱託員 1人		市嘱託員 3人
28	市嘱託員 2人 都非常勤嘱託員 1人		市嘱託員 3人
29	市嘱託員 2人	市嘱託員 2人	市嘱託員 3人

(イ) 新規案件数等

(単位：件)

区分	年度	27年度	28年度	29年度
	新規案件数		85	77
延べ活動件数		2,761	2,541	2,498

(16) 適応指導教室「太陽の子」

ア 目的 心理的要因等から不登校の状態又はその傾向のある児童に対して，対人関係能力の伸長及び自立への援助を行うもの

イ 沿革

平成8年9月 市民センター3階に開設

平成18年4月 市民センターの取壊しに伴い，民間テナントビル（小島町3丁目69番地14）の4階に移設

平成21年4月 市民大町スポーツ施設内に移設

ウ 通室延べ児童数

年度	通室実児童数（人）	通室延べ児童数（人）	開設日数（日）
27	17	1,234	201
28	14	923	200
29	18	964	202

エ 太陽の子の配置人数等

年度	教育支援コーディネーター等 配置人数
27	市嘱託員 3 人，都非常勤嘱託員 3 人
28	市嘱託員 3 人，都非常勤嘱託員 3 人
29	市嘱託員 2 人，都非常勤嘱託員 3 人

(17) いじめ撲滅に向けた取組

市立小学校第1・4学年児童，中学校第1学年生徒及び保護者へ，いじめ撲滅に向けた啓発リーフレットを配布した。

また，いじめ撲滅の手引きを，全教職員へ配付し，いじめ撲滅に向けての指導の充実を図った。

さらに，12月の調布市立学校「人権週間」において，全ての学校がいじめに特化し，児童・生徒が主体的に取り組む活動を行った。

3 特別支援学級運営事務 予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書319ページ]

特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を行う特別支援学級を運営するもの

(1) 学級介助員

特別支援学級(知的障害)1クラスに1人の介助員を配置し，学級担任の業務補助を行った。

特別支援学級設置校学級数・児童生徒人数・配置人数(各年度5月1日現在)

学校及び学級種別	27年度			28年度			29年度		
	学級数	児童生徒人数	介助員	学級数	児童生徒人数	介助員	学級数	児童生徒人数	介助員
第一小学校(固定学級)	3	17	4	4	25	4	4	25	4
第一小学校(言語障害通級指導学級)	3	51	/	3	44	/	3	60	/
第一小学校(難聴通級指導学級)	1	13	/	1	12	/	1	16	/
八雲台小学校(固定学級)	4	29	4	4	29	5	5	37	5
富士見台小学校(固定学級)	3	20	3	3	18	3	3	18	3
滝坂小学校(固定学級)	2	13	3	2	14	3	2	14	3
石原小学校(特別支援教室)	7	63	/	/	70	/	/	97	/
染地小学校(固定学級)	3	20	3	2	16	2	3	19	3
多摩川小学校(固定学級)	2	9	2	2	13	2	2	12	1
飛田給小学校(特別支援教室)	4	33	/	/	63	/	/	89	/
柏野小学校(特別支援教室)	7	65	/	/	88	/	/	112	/
調和小学校(特別支援教室)	9	90	/	/	106	/	/	122	/
調布中学校(固定学級)	5	36	5	4	32	4	4	29	4
神代中学校(固定学級)	4	28	4	3	24	3	3	18	3
第三中学校(固定学級)	3	22	3	4	28	4	3	20	3
第六中学校(情緒障害等通級指導学級)	3	22	/	4	36	/	4	38	/
第七中学校(情緒障害等通級指導学級)	1	4	/	1	4	/	1	5	/

(2) スクールサポーター

集団不適應の児童への指導等をサポートするため，全市立小・中学校にスクールサポーターを配置した。

年度	配置数(人)	配置型	派遣型	職員構成
27	35	28	7	市嘱託員 31 人, 都非常勤嘱託員 4 人
28	34	28	6	市嘱託員 34 人
29	31	28	3	市嘱託員 31 人

(3) 特別支援学級巡回検査・訓練

特別支援学級の児童・生徒を対象に、検査や訓練を行う専門家が学校を訪問して行った。

検査内容	27年度	28年度	29年度
知能検査実施人数(人)	9	10	13
機能訓練訪問回数(回)	64	69	81
言語訓練訪問回数(回)	48	64	54
医学診断訪問回数(回)	0	1	0
心理療育相談訪問回数(回)	1	1	3
音楽療法訪問回数(回)	10	5	6

4 校外学習指導事務

予算科目(款・項・目) 50・05・15

[決算書319~321ページ]

児童・生徒の豊かな心を育み、協調性や規律性を養う校外学習を実施するもの

(1) 移動教室

ア 小学校移動教室

第5学年を対象に、八ヶ岳少年自然の家を利用して、2泊3日で実施した。

沿革

平成9年度 1泊2日で順次実施開始

平成12年度 1泊2日で全20校実施

平成13年度 4校が2泊3日に拡充して実施

平成14年度 14校が2泊3日で実施

平成15年度 全20校が2泊3日で実施

平成23年度 第5学年20校に加え、第4学年の1校が1泊2日で実施

平成24年度 第5学年20校に加え、第4学年の2校が1泊2日で実施

平成25年度 第5学年20校が2泊3日で実施

イ 小学校特別支援学級移動教室

学校別で、高尾山等を利用した1泊2日の宿泊訓練を実施した。

ウ 中学校移動教室

全市立中学校の第1学年又は第2学年を対象に、木島平村で2泊3日のスキー教室を実施した。

エ 中学校特別支援学級移動教室

学校別で、神奈川県箱根町方面や山梨県鳴沢村方面等へ1泊2日の宿泊訓練を実施した。

(2) 修学旅行

全市立中学校の第3学年を対象に、修学旅行を実施した。

学校名	日程	行先
調布中学校	平成29年9月13日~15日	京都・奈良方面
神代中学校	平成29年9月23日~25日	京都・奈良方面
第三中学校	平成29年9月28日~30日	京都・奈良方面

第四中学校	平成29年9月4日～6日	京都・奈良方面
第五中学校	平成29年9月1日～3日	京都・奈良方面
第六中学校	平成29年9月24日～26日	京都・奈良方面
第七中学校	平成29年9月5日～7日	京都・奈良方面
第八中学校	平成29年8月29日～31日	京都・奈良方面

(3) 芸術鑑賞教室

児童・生徒にオーケストラによる音楽の美しさや、生の演技・芝居の迫力を体感させ、心豊かになる教育活動を行った。

ア 調布市立小学校音楽鑑賞教室

- (ア) 対象 第6学年児童
- (イ) 日程 平成29年6月9日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演奏 東京都交響楽団

イ 調布市立小学校演劇鑑賞教室

- (ア) 対象 第4学年児童
- (イ) 日程 平成29年9月14日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演目 「シンドバットの冒険」(劇団ポプラ)

ウ 調布市立中学校古典芸能鑑賞教室

- (ア) 対象 第1学年又は第2学年生徒
- (イ) 日程 平成29年9月28日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 内容 狂言(鼻山伏ふくろうやまぶし、附子ぶす)、落語(笑福亭岐代松、三笑亭夢太郎)

エ 調布市立中学校音楽鑑賞教室

- (ア) 対象 第1学年又は第2学年生徒
- (イ) 日程 平成30年1月23日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演奏 東京都交響楽団

(4) 教育委員会主催行事等参加支援

芸術鑑賞教室等に参加する児童・生徒の学校等から会場までの交通費を補助した。

(5) 中学生職場体験

事業所等の協力を得て、職場や仕事の実験を体験することにより、将来に夢や希望を抱き、その実現のための知識・技能の習得への関心を高め、望ましい勤労観・職業観を育むことを目的として、全市立中学校の第2学年生徒を対象に、平成18年度から実施した(18・19年度は3日間。20年度からは5日間)。

年度	参加生徒数(人)	受入事業所数(延べ箇所)
27	1,296	449
28	1,406	537
29	1,323	431

5 国際理解教育 予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書321ページ]

児童・生徒の国際理解を図り、また、帰国及び外国籍児童・生徒への日本語指導を行うもの

(1) 外国人英語指導

全市立小・中学校で英語を母国語とする外国人による英語指導を実施した。

年度	指導者数 (人)	延べ指導日数 (日)
27	9	1,420
28	10	1,593
29	9	1,559

(2) 日本語指導

日本語の会話・理解が困難な海外からの帰国及び外国籍児童・生徒が、学校生活に早く適応できるよう、基本的な日本語指導や授業補助指導等を行った。

ア 日本語指導教室 (おおむね週2回, 教育会館で開催)

年度	延べ在籍人数 (人)	実施回数 (回)
27	44	92
28	54	91
29	61	89

イ 日本語指導臨時講師

当該児童・生徒の母国語等を話すことができる講師を市立小・中学校に派遣した。

年度	対象児童・生徒数 (人)	延べ派遣時間数 (時間)
27	15	673
28	24	1210
29	30	1504

6 命の教育活動

予算科目 (款・項・目) 50・05・15 [決算書321ページ]

命の大切さや他者との違いを理解し、お互いを認め合うことができる豊かな心を育成するもの

(1) 普通救命講習

中学校第3学年と小学校第6学年を対象に実施した。

年度	受講児童数 (人)	受講生徒数 (人)
27	1,683	1,379
28	1,692	1,311
29	1,660	1,389

(2) 上級救命講習

教員に対して、救命講習を実施した。

年度	受講教員数 (人)	
	新規講習	再講習
27	228	102
28	125	79
29	154	130

(3) 応急手当普及員講習

上級救命講習を受講した教員に対して、講習を実施した。

年度	受講教員数 (人)	
	新規講習	再講習
27	27	
28	11	

29	16	29
----	----	----

(4) 防災に係る保護者地域対象の教育活動

主に防災教育の日を活用し、保護者や地域の人を対象とした防災に係る講演会を実施した。

7 教職員研究活動

予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書321ページ]

教職員の指導力向上を図るため、市立小・中学校等の研究を推進し、教職員の研修を実施するもの

(1) 教職員研修

研修名	回数等
校長会	11回
副校長連絡会	4回
主幹教諭研修会	3回(新任主幹教諭研修会を含む)
教務主任会	小・中各5回(合同会を含む)
生活指導主任会	小6回・中8回(合同会を含む)
中学校進路指導主任会	3回
新学習指導要領に対応した授業改善推進委員会	7回
人権教育推進委員会	9回(幹事会を含む)
小学校外国語活動推進委員会	5回
特別支援教育推進委員会	4回
オリンピック・パラリンピック教育推進委員会	3回
初任者研修会	11回(宿泊研修を別途開催)
2・3年次研修会	6回
中堅教諭等資質向上研修 I	4回
少人数・習熟度別指導推進委員会	3回
スクールカウンセラー連絡会	3回
不登校対策委員会	4回
学校図書館運営連絡協議会	3回
ICT教育推進委員会	5回
道徳教育推進委員会	5回
学校支援地域本部推進委員会	2回

(2) 調布市立小・中学校教育研究会

毎月1回の授業研究等を中心に活動をした。

ア 調布市立小学校教育研究会 20 研究部

イ 調布市立中学校教育研究会 12 研究部

(3) 連合行事

ア 連合音楽会(小学校)平成29年12月7日から同月8日まで 調布市グリーンホール

イ 連合音楽会(中学校)平成29年11月7日 文化会館たづくりくすのきホール

ウ 連合図工展 平成30年1月18日から同月21日まで 文化会館たづくり南北ギャラリー

エ 連合美術展 平成30年1月26日から同月30日まで 文化会館たづくり南ギャラリー

(4) 研究推進校

ア 概要 教育指導上の諸問題を解明し、公教育の向上発展及び教員の資質向上を図るため、学校が研究課題を設定し、授業研究を通して課題の解決を図り、その成果を市民に発表する

もの

イ 実施校

(ア) 第三小学校（平成28・29年度）

研究課題「子どもが学ぶ楽しさを味わえる授業の創造」

(イ) 八雲台小学校（平成28・29年度）

研究課題「どの子にも分かりやすい授業づくり」～算数授業のユニバーサルデザイン化を通して～

(ウ) 多摩川小学校（平成28・29年度）

研究課題「豊かな心をもつ児童の育成」～広く、深く考える道徳授業を目指して～

(エ) 第三中学校（平成28・29年度）

研究課題「高い安全意識を持ち、主体的に取り組む生徒の育成」

(オ) 若葉小学校（平成29・30年度）

研究課題「自分の考えを生き生きと表現する子どもの育成」

(カ) 布田小学校（平成29・30年度）

研究課題「運動に親しみ、関わり合い高め合う子供の育成」

(キ) 第七中学校（平成29・30年度）

研究課題「生徒が主体となるアクティブ・ラーニングの視点の授業改善」～ICT等の利活用を通して～

(5) 少人数学習指導

小学校低学年の算数を中心として、児童一人一人へのきめ細かい指導を実現するため、少人数指導講師を全市立小学校に配置した（平成17年度に10校で開始し、平成18年度からは小学校全校で実施）。

8 心の教育推進事業

予算科目（款・項・目）50・05・15

〔決算書321～323ページ〕

市立小・中学校全28校にスクールカウンセラーを配置し、学校生活での様々な問題への対応を図るため、学校教職員と連携しながら児童・生徒へのカウンセリング等の相談活動を行うもの

(1) 小学校スクールカウンセラー相談者数

年度	児童	保護者	教職員	他機関等	合計
27	8,209	1,536	5,475	195	15,415
28	7,036	1,946	5,575	186	14,743
29	8,065	2,101	6,159	250	16,575

(2) 中学校スクールカウンセラー相談者数

年度	生徒	保護者	教職員	他機関等	合計
27	1,879	606	2,063	125	4,673
28	1,972	639	1,678	133	4,422
29	2,126	755	2,277	109	5,267

9 学校図書館運営

予算科目（款・項・目）50・05・15〔決算書323ページ〕

読書活動や調べ学習への支援等により学習活動の充実を図るため、市立小・中学校図書館を運営するもの

(1) 学校図書館活動状況（全市立小・中学校28校）

ア 年間貸出総冊数

年度	貸出総冊数（冊）	児童・生徒利用冊数（冊）
27	694,431	656,019
28	714,999	675,820
29	746,677	705,310

イ 図書資源共有

- (ア) 学校間借受 3,018冊
- (イ) 市立図書館借受 7,306冊
- (ウ) 貸借時図書資料搬送 コンテナ 854箱

ウ 蔵書総数 351,146冊

エ 除籍図書 12,209冊

オ 図書標準達成校数 小学校20/20校, 中学校8/8校

カ 「平成28年度版調布市立学校図書館状況報告書」の発行

学校図書館の蔵書数等の基本データや児童・生徒・教員等への貸出冊数, 読書活動及び調べ学習での学校図書館活用授業内容等の利用状況をまとめた。

キ 推薦図書リスト「2017ほんのたからばこ」(小学1・2学年, 3・4学年, 5・6学年向け), 「2017ほんとののであい」(中学校向け)の発行

(2) 学校図書館専門嘱託員

ア 配置 全校1人配置 (小学校22人, 中学校8人)※ 大規模校は2人配置

年度	1日当たり5時間勤務校(人)	1日当たり6時間勤務校(人)
27	24	5
28	26	4
29	18	12

イ 研修会

(ア) 講師, テーマ及び開催日

a 荒川区立峽田小学校教諭 小長谷 啓子氏 荒川区立汐入東小学校司書 山下 希望氏 「司書教諭と学校司書が連携した取組の実践報告」平成29年8月2日

b 調布市立図書館職員 「子どもの読書相談『面白い本ないですか』に答える」平成29年8月2日

(イ) 事務連絡会等会議 年23回

10 情報教育

予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書323ページ]

予算科目(款・項・目) 50・10・10 [決算書331ページ]

予算科目(款・項・目) 50・15・10 [決算書343ページ]

児童・生徒が, 情報社会に対応できる情報活用能力を身に付ける情報教育を推進するもの

(1) パソコンライブラリー

パソコンやソフトウェアの使い方のアドバイス, パソコンのトラブルの解決など, 市立小・中学校のパソコン教室やICT機器の利用を円滑に運営することを目的に, 教育センター内に設置。情報教育専門嘱託員を2人配置し, 各校のパソコンの利用, 情報教育の学習活動, 情報発信などの円滑な運営を支援した。

(2) パソコン設置状況(各年度3月31日現在)

ICT教育を推進すべく, 段階的に小・中学校へタブレット端末や無線LANアクセスポイントなどの環境整備を行っていく。

また、新学習指導要領や利便性等を鑑み、教員用パソコンから整備を行い、1台のタブレット端末において校務及び教育（授業）で使用できるシステムを構築するとともに、普通教室に無線LANアクセスポイント及び超短焦点プロジェクターを常設した。

ア 概要

内容	比較	市の整備状況	文部科学省の目標
児童・生徒教育用パソコン（下記イ・ウ・キ）		1台当たり8.8人	1台当たり3.6人
教員校務用パソコン（下記エ）		おおむね100%	100%（1人1台）
校内LAN整備		100%（全校）	100%（全校）

※ 文部科学省の目標は、第2期教育振興基本計画で目標とされている標準

イ パソコン教室（各校42台配置）（単位：台）

学校別 年度別	小学校			中学校		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
設置台数合計	840	840	840	336	336	336

ウ 情報教育用（教材作成用（職員室設置）・電子黒板接続用（教室等に移動可）パソコン）（単位：台）

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
導入校			257	-	-	-
未導入校	212	232	93	120	128	102

エ 教務用（全教員に1台のパソコンを配置。タブレットは情報教育用と兼用）（単位：台）

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
導入校			287	-	-	-
未導入校	555	555	267	243	244	240

オ プロジェクター（単位：台）

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
導入校			186	-	-	-
未導入校	0	0	20	24	24	24

カ 無線LANアクセスポイント（単位：台）

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
導入校			186	0	0	0
未導入校	0	0	0	0	0	0

キ 特別支援学級用タブレット（単位：台）

学校別	小学校	中学校
設置台数合計	23	18

ク 指導室（単位：台）

タブレット	4
無線LANアクセスポイント	1

11 教職員の定期異動

市立小・中学校における教職員の定期異動に関するもの

(1) 教職員総数（平成30年5月1日現在）

小学校589人，中学校249人，合計838人（期限付任用教員・再任用を含む。）

(2) 定期異動

ア 平成30年4月1日付け（期限付任用教員を含む。）

（単位：人）

職層	新規採用	市内転任	市外へ転出	市外から転入
校長	0	1	0	1
副校長	0	5	2	3
主幹教諭	0	1	3	2
指導教諭	0	0	0	0
主任教諭	0	22	32	32
教諭	63	6	52	38
事務・栄養職員	1	4	5	5
合計	64	39	92	81

※ 転任・転入は昇任を含む。

イ 平成30年3月31日付け退職

校長2人，副校長1人，主幹教諭1人，主任教諭6人，教諭8人 計18人（定年退職後，再任用された者を除く。）